

預金・貸出金の状況

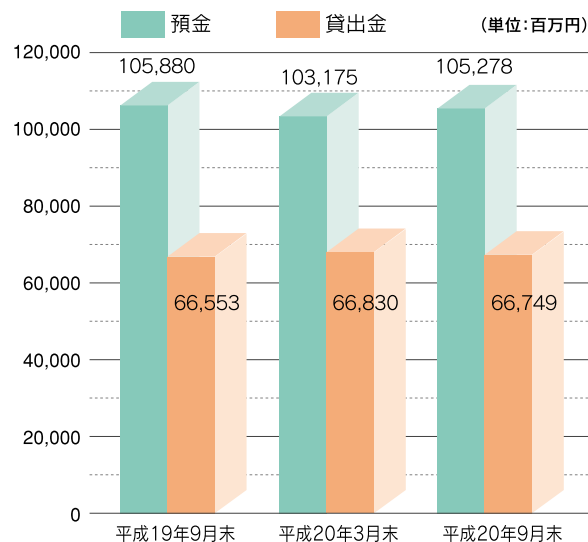
● 預金について

当金庫は、お客様との預金取引におきましては、小口多数主義を基本方針とし営業基盤の強化に努めてまいりました。平成20年9月末の預金残高は、1,052億78百万円となりました。これは、平成19年9月末に対して6億2百万円(0.57%)の減少、平成20年3月末に対して21億3百万円(2.03%)の増加となりました。今後も小口多数取引に徹した地域の皆様のニーズにお応えすべき預金取引に取り組んでまいります。

● 融資について

当金庫は、「融資推進室」を本部に設置し、融資の推進を重点的に取り組んでおります。平成20年9月末の融資残高は667億49百万円となりました。これは、平成19年9月末に対して1億96百万円(0.29%)の増加、平成20年3月末に対して81百万円(0.13%)の減少となりました。今後も地域の皆様のお役に立つべき融資推進を積極的に取り組んでまいります。

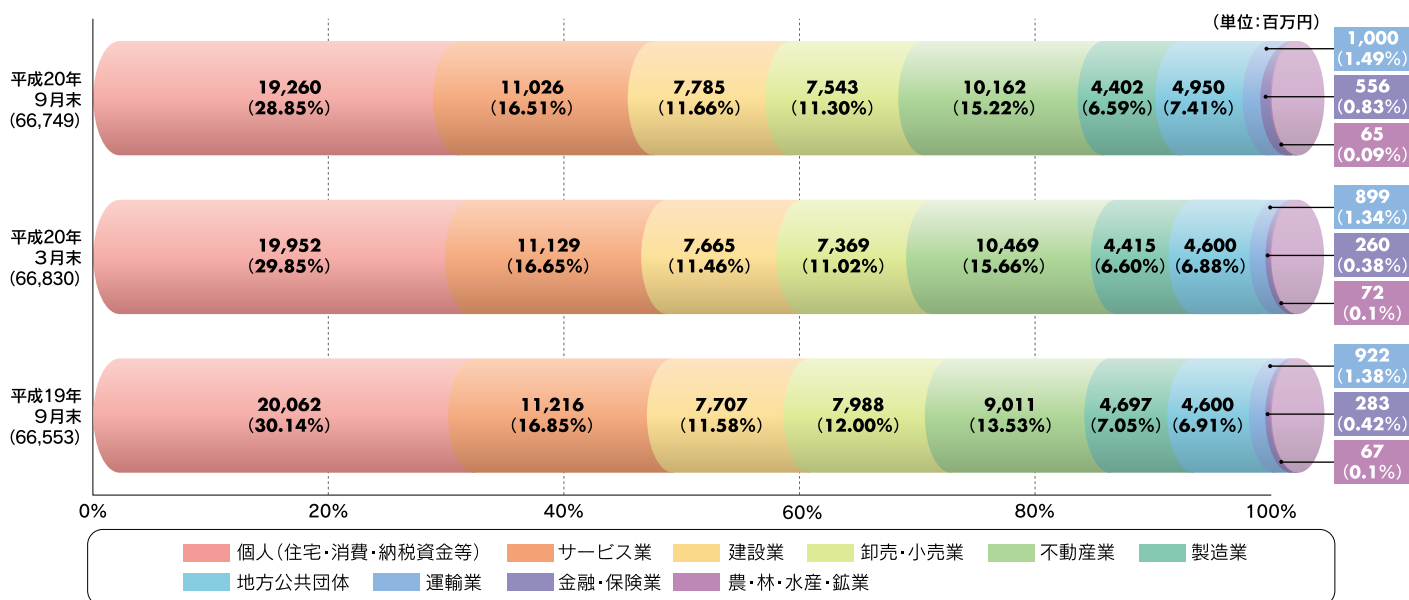
■ 預金に占める貸出金の割合(預貸率) 63.40% 《平成20年3月末 64.77%》



貸出金の内訳

● 貸出金業種別構成比

平成20年9月末の融資残高は、667億49百万円となりましたが、業種別の構成比率に大きな変動はありませんでした。当金庫は、地元のみならずからお預りした資金(ご預金)を、個人・サービス業・不動産業・建設業の順でほぼ全業種にわたり、特定の業種に偏ることなく、地元のみならずにご利用いただいております。



有価証券の時価情報

	(単位:百万円)			
	時価	平成20年9月末		評価差額
		うち益	うち損	
その他有価証券	10,968	△1,168	17	1,185
株式	521	△152	9	162
債券	8,997	△418	7	426
その他	1,449	△596	—	596

	(単位:百万円)			
	時価	平成20年3月末		評価差額
		うち益	うち損	
その他有価証券	11,362	△939	32	971
株式	622	△181	10	191
債券	9,073	△251	21	273
その他	1,665	△505	0	506

(注) 1.平成20年9月末の「評価差額」及び「含み損益」は、平成20年9月末時点の帳簿価格(償却原価法適用、減損処理適用後)と時価との差額を計上しています。
2.なお、満期保有目的の債券、子会社・関連会社に係る含み損益は以下のとおりです。

	(単位:百万円)			
	帳簿価格	平成20年9月末		含み損益
		うち益	うち損	
満期保有目的の債券	4,105	△19	29	49
子会社・関連会社の株式	—	—	—	—

	(単位:百万円)			
	帳簿価格	平成20年3月末		含み損益
		うち益	うち損	
満期保有目的の債券	3,311	19	49	30
子会社・関連会社の株式	—	—	—	—